

英語で始めた授業が日本語に戻るのは、生徒が返せないから

この紙のゴール：先生の20本ではなく、生徒が返す20本を配る

英語で始めた授業が10分で日本語に戻るのは、教師の英語が足りないからではありません。生徒が英語で返せないので、沈黙を埋めるために日本語が入るからです。だからこの紙は先生用のフレーズ集ではなく、先生が言う／生徒が返すの対にしています。生徒の側が20本そろえば、教室は英語のまま進みます。

始める

先生が言う	生徒が返す
Let’s get started. Open your textbooks to page 42.	Which page? / Page 42, right?
How are you doing today?	Pretty good. / A little sleepy.
What’s the date today?	It’s September 1st. It’s Monday.
Did you finish your homework?	Yes, I did. / Not yet. Sorry.
Let’s review last time. What did we learn?	We learned about / I forgot.

指示を受ける

先生が言う	生徒が返す
Work in pairs.	Can I work with him?
Make groups of four.	We have only three. Is that OK?
Write your answer in your notebook.	In English or in Japanese?
You have three minutes.	Can we have one more minute?
Read it aloud, please.	From where to where?

困ったとき この5本がこの紙の芯です。「分からない」を英語で言えることが、日本語の入口を塞ぎます

こんなとき	生徒が言う
聞き取れなかった	Could you say that again, please?
言いたい日本語がある	How do you say it in English?
つづりが分からない	How do you spell it?
単語の意味が分からない	What does this word mean?
何も浮かばない	Sorry, I have no idea. Can you give me a hint?

最後の1本を必ず入れておくこと。「分からない」と言えない生徒は、黙るか日本語で言うかの二択になります。

答える・終わる

先生が言う	生徒が返す
What do you think?	I think / I’m not sure, but maybe
Any questions?	Yes, I have one. / No, I’m OK.
Are you ready?	Almost. / Just a moment, please.
Time’s up.	Wait, one more sentence!
That’s all for today.	Thank you. See you next time.

教室英語（高校版） | 貼るだけでは使われない。3週間の入れ方

3週間 配った日に「使いなさい」と言わないことが、この紙のいちばんのコツです

週	教師がすること	生徒に求めること
1	生徒の返しも教師が言ってしまう。言いたそうな顔をしたら Could you say that again? と代わりに言い、それから答える	何も求めない（聞くだけ）
2	返しを1本だけ指名して言わせる。言えなければ教師がもう一度言って通す	指名された1本だけ
3	日本語で言う前に、この紙から探すことをルールにする	「困ったとき」の5本だけ

手本が先で、要求はあとです。順序を逆にすると、紙は貼られたまま1年が終わります。ほかの15本は、困ったときの5本が回りはじめると自然に増えます。

日本語に戻ってよい3つの場面 先に決めておくほうが、結果として英語の時間は長くなります

場面	理由
文法の要点を確定させるとき	「なんとなく分かった」で終わると、テストで崩れます。短く日本語で言い切ってから英語に戻します
評価の説明をするとき	何がどう評価されるかは、誤解が1つも許されない情報です
安全と生徒指導に関わるとき	伝わったかどうかを推測してはいけない場面です

高等学校の外国語では「授業は英語で行うことを基本とする」とされていますが、「基本とする」であって全部ではありません。戻ってよい場面を決めていない教室のほうが、かえて日本語の割合が増えます。

帯での配り分け

帯	配り方
学び直し（b1）	「困ったとき」の5本だけを大きく刷って貼る。20本を一度に配ると、読む前にあきらめます
基礎固め（b2）	20本すべて配る。ただし求めるのは困ったときの5本だけ
実力（b3）	20本＋教師の言い回しを1つずつ増やす。Any questions? を Does that make sense? に替えるなど
入試（b4）	20本＋空欄。自分が言いたかった1本を書き足させ、月に1回集めて全体に配ります

つながる紙

生徒が英語で話し続けるための返しの型そのものは、パフォーマンステスト（やり取り）の運営キットにある「返しの型4」と同じ考え方です。あちらはテストの日の紙、この紙は毎時間の授業のほう。話す量の記録は話すことの記録へ、音読の帯は音読の段と記録へどうぞ。

